

第3部第4章第7節「不法行為の効果2」

【設例】

1. 芸能人Aについて、出版社Bが、「Aは裏社会とつながっている」という内容の記事を掲載した雑誌を出版した。その内容は真実でなかったが、Aは所属事務所から解雇されてしまった。Aは、Bの不法行為について、どのような救済を求めることができるか。[展開1]

2. 知事選に立候補したAについて、出版社Bが、Aの私生活についてあることないことを書き連ねて、「嘘とハッタリばかりのAを当選させたらおしまいだ」と評する記事を掲載した雑誌を出版しようとしている。Aは、Bに対してどのような法的手段を取ることができるか。[展開3]

3. Aは、近隣で24時間稼働している工場Bからの騒音に悩まされている。十分な睡眠がとれないためなのか体調を崩してしまったAは、Bに対してどのような法的手段を取ることができるか。[展開4]